

| | | | | | | | | |
|------|-----|-----------------|------|-------|---------|----------|-----|-------|
| 科目名 | | 理学療法技術論Ⅳ（小児期疾患） | | | 授業の種類 | 演習 | 講師名 | |
| 授業回数 | 15回 | 時間数 | 30時間 | （1単位） | 配当学年・時期 | 理学療法士科3年 | | 必修・選択 |
| | | | | | | | | 必修 |

〔授業の目的・ねらい〕

脳性まひを中心に小児理学療法について理解する。

〔授業全体の内容の概要〕

講義形式が中心ですが、ビデオ等により臨床像をイメージしたり、確認したりしたいと考えています。
場合によっては実技やグループでの討論を行ないたいと思います。

〔講師の実務経験〕

〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕

脳性まひ児の理学療法を通して小児理学療法の考え方を理解する。
脳性まひの各タイプの特徴を理解する。

| 回数 | 講義内容 |
|----|------------------|
| 1 | 小児理学療法全般についての概論 |
| 2 | 脳性まひ児に対するPT場面の紹介 |
| 3 | 脳性まひについて |
| 4 | 脳性まひについて |
| 5 | 脳性まひの症状 |
| 6 | 脳性まひの症状 |
| 7 | 脳性まひの症状 |
| 8 | 脳性まひの症状 |
| 9 | 理学療法アプローチの考え方 |
| 10 | 評価と理学療法アプローチ |
| 11 | 評価と理学療法アプローチ |
| 12 | 評価と理学療法アプローチ |
| 13 | 評価と理学療法アプローチ |
| 14 | 小児理学療法実技 |
| 15 | 小児理学療法（まとめ） |
| | 定期筆記試験 |

【 準備学習・時間外学習 】

| |
|--|
| |
|--|

【 使用テキスト 】

| 書籍名 | 著者名 | 出版社 |
|-----------------|------|-----|
| 小児理学療法学テキスト 第3版 | 細田多穂 | 南江堂 |
| | | |

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

筆記試験により評価します。